

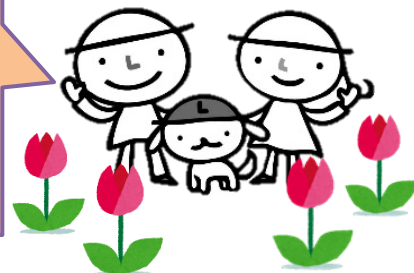
いとるらいふ通信

(社福) みんなでいきる
障害福祉サポートセンター
いとるらいふ
発行日：2023年4月

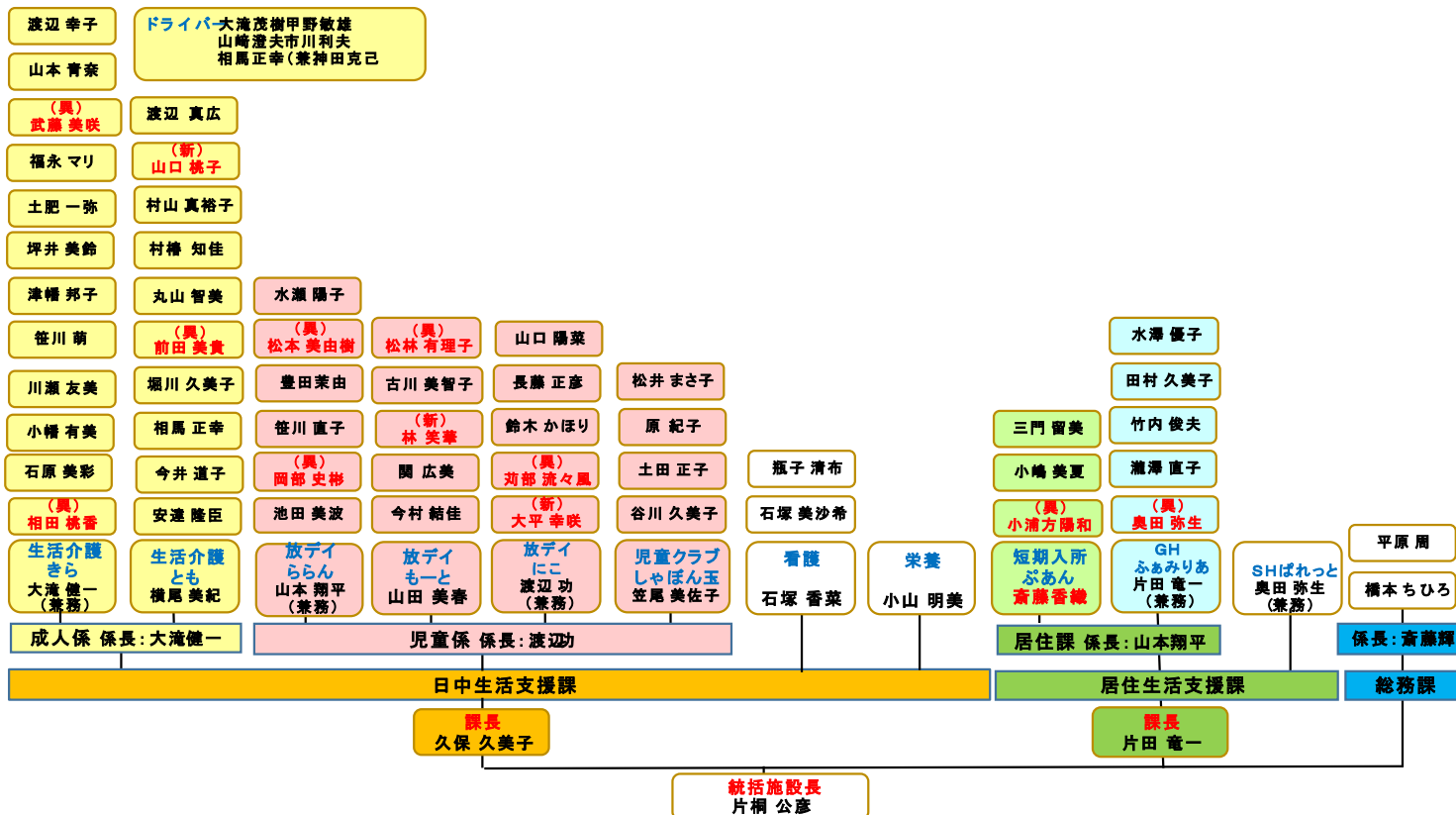
春は出会いと別れの季節です。いとるらいふでも、人事異動がありました。

新体制として、今年度も皆様と笑顔溢れる年になるよう頑張ってください！

そんな今回のトップ記事は「異動職員のインタビュー」です。異動前の思い出や異動後の決意を聞いてみました！それでは、どうぞ！！



令和5年度 障害福祉サポートセンター いとるらいふ 職員組織図



採用・異動人事

入職

山口 桃子	生活介護 とも
林 笑華	放課後等デイサービス もーと
大平 幸咲	放課後等デイサービス にこ

異動

吹原 和美	放課後等デイサービス にこ	⇒	つちはし保育園 (保育園事業)
金子 芹香	生活介護 とも	⇒	サンクス柿崎 (高齢福祉事業)
相田 桃香	児童養護施設 (児童福祉事業)	⇒	生活介護 きら
奥田 弥生	育児休暇	⇒	グループホーム ふあみりあ
前田 美貴	育児休暇	⇒	生活介護 とも
松本 美由樹	法人本部 企画課	⇒	放課後等デイサービス ららん

異動職員の紹介・インタビュー



いとるらいふ内でも異動があり、異動する職員に「異動前の思い出」と「異動先での意気込み」を聞いてみました！



武藤 美咲
放課後等デイサービス もーと ⇒ 生活介護事業所 きら

子ども達に「武藤さん」と呼ばれ、一緒に遊べるのが何より嬉しく、楽しかったです。3年も居させてもらったもーとを離れるのは寂しいですが、今度はきらで「武藤さん」とたくさん呼んでもらえるように、関わっていこうと思いますのでよろしくお願いいたします！

岡部 史彬

生活介護事業所 きら ⇒ 放課後等デイサービス ららん

配属されて4カ月が経ちました。短い期間でしたが、多くの思い出があります。利用者様とドライブ等をしたり、楽しい時間を過ごさせていただきました。分からないことは、係長や先輩職員が教えて下さり利用者様の為に働くことができました。新しい配属先でも前の職場の経験をいかし、利用者様と法人の為に働きたいです。



松林 有理子

放課後等デイサービス ららん ⇒ 放課後等デイサービス もーと

「ららん」での思い出は、元気と笑顔と笑い声があふれる中で毎日、楽しく過ごしたことです。大好きとありがとうの気持ちでいっぱいです。4月よりお世話になる「もーと」では、子どもたちにとって自分らしく過ごすことのできる居心地の良い場所となるように、一人ひとりの気持ちに寄り添えたらと思っています。



苅部 流々風

生活介護事業所 きら ⇒ 放課後等デイサービス にこ

きらでは、人の気持ちについて考えることが多く、利用者さんとの関わりの中で笑顔が見られた時にとっても嬉しい気持ちになりました。2年間本当にありがとうございました。異動先のここでも、沢山利用者さんと関わり、日々楽しんでいただけるようにイベントの企画や過ごし方について考えて実行していきたいと思っています！



小満方 陽和

生活介護事業所 とも ⇒ 短期入所 ぷあん

ともでは、企画したイベントで皆様の笑顔を沢山見ることが出来嬉しかったです。毎日楽しく、素敵な2年間を過ごすことが出来ました。本当にありがとうございます。異動先のぷあんでは、安心安全に泊まることができ、1番は「お泊り、楽しみ!!」と思って頂けるよう努めたいです。



各事業所の 活動報告



きら



雪も解け、暖かい日が続くようになり日課でドライブに出かけらえるご利用者様も車から降りて散歩が出来るようになりました。公園や海辺へ出かけ元気いっぱい走り、汗をかいた後のお茶は最高！高田公園に出かけた時にはお花見の準備が始まっていました。

ららん

3月ららんから卒業されるお友だちは3名。ささやかですがお祝いをしました。年下のお友だちの中から「ほくがお手伝いする！」とこえを上げて進んで記念品贈呈のお手伝いをし、お花を渡しながらいっぱい遊んでくれてありがとう。」と言葉を贈りあいました。



とも



午後の活動でクラッパー（はりせん）作りを行いました。作り方は紙に絵を描いて、ジグザグに折ったら完成！音楽に合わせてLet's scrap♪好きなアニメソング・昔流行った思い出の曲とともに小気味良くリズムを刻みました。

もーと



もーとでは、3月に進学・進級のお祝いをしました！さくらのフォトブースで写真撮影をした後は、1年間の思い出がつまったアルバムを1人1人にプレゼントしました♪自分だけのアルバムをじっくり眺めながら、「こんなことがあったね〜！」と思い出話に花を咲かせました◎

にこ

3月は卒業の季節。高等部3年生6名がにこを卒業されました。隠された複数のメッセージカードから、最後のミッションを果たしてもらい、無事に感謝状と記念品を贈ることができました。最後まで、にこでの過ごしを楽しくてくれてありがとう！笑顔でいてくれてありがとう！今後も笑顔で歩まれることをお祈りします。



ここ数年感じてきたこと



日中生活支援課 久保 久美子

あと1カ月もすると、コロナが第5類に分類されるという世の中。振り返れば、ここ3年間の中で、コロナにより様々なことを考えさせられました。特に強く考えさせられたことは、やはり重度の障害を持つ方を支えることの難しさと、自分たちの柔軟な対応の必要性です。

例えば、生活介護事業所きらには重度知的障害を伴う自閉症の方が多くいらっしゃいますが、マスク着用の困難性と、その一方で罹患した場合の病院受診の障壁があり、コロナが流行しだしてからずっと「ご本人の安定の尊重（マスクの強要をしないこと等）」と「感染防止の必要性」との間で、どこを重要視すべきなのか常に悩んでいました。

また、マスク着用困難者が多いことからどうしても感染拡大リスクが高く、発生時には拡大防止の観点で閉所が何より有効だとはわかりつつ、その一方でイレギュラーな自宅待機生活がどれほど利用者の皆さんにとって理解しがたくストレスなのかも目の当たりにして、本当に判断が難しいと思っていました。実際、昨年度はきらでコロナ感染が何度かあり、閉所もしたわけですが、その閉所により自宅で不調となり入院される状況になられた方もいらっしゃったため、とても責任を感じ、自分たちの支援の重要性を改めて感じさせられたように思います。

基礎疾患があり重症化リスクが高い方、マスク着用在困難な方、隔離対応を取りたくても急な環境変化に適応することが困難な方、ソーシャルディスタンスと言っても他者との距離を取ることが難しい方、本当にお一人お一人異なる状況があるために、万全の感染予防策はないに等しく、その中でどこまで皆さんの安全と安心を守れるのか、日々判断に迷った自分がいたことも事実です。

そうした積み重ねにより、生活支援の本質も今一度深く考え、そして何度も人と意見を交わして常に自分たちのできる最善の対応をすることが出来た数年だったのかもしれない。

私自身もこのコラムを読んでいる皆さんも、きっと「コロナ」という未知だったものとの向き合いにより、生活様式が変わり、人との付き合いも生活の質もかなり変化してきたかと思います。その変化はある側面から見ると、何かを失っていくような変化だったかもしれませんが、見方を変えれば、今まで見てこなかった目線で見直して改めて様々なことの重要性や価値などを捉え直すような変化だったのではないかと私は思っています。

令和5年度が始まりました。さくらが咲き、外は暖かくなり、そしてコロナは第5類へ。これまでの先が見えなかった状況から確実に何かが変わろうとしていると思います。この先の流れにも、柔軟に対応し、そこで見えたことや感じたことを素直に受け止め、人の声に耳を傾けて、一步一步また自分を成長させ、「自分たちのできる最善の支援」の提供をめざしたいと心から思っています。

よろしくお祈りします！



今年から、りとるらいふでは委員会制度を導入しました。そのため「通信委員」も新たに「広報委員会」として生まれ変わり、メンバーも増えました！
左上から坪井・石原、左下、渡辺・小浦方・豊田です。
5月号からこの5人で制作をします。
皆様の月に一度の楽しみとなるよう、頑張ります。
1年間、よろしくお祈りします(^)/